

エンジンブロワバキューム

EB-26D

取扱説明書

このたびは、弊社「エンジンブロワバキューム EB-26D」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1~4	組立方法	7~8
仕様	5	使用方法	8~10
付属品	5	作業方法	11
各部名称	6	保守と点検	12~14

【安全上のご注意】

- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡してください。




●表示と意味










 警告
使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険・物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。

 注意
使用を間違った場合に人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。


















※  注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。

※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。

















図記号の例		図記号の意味
	禁 止	行為の禁止を示します。
	強 制	行為を強制・指示する内容を示します。
	注 意	注意を促す内容を示します。

 警告	
・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。	
・疲れている時や体調の悪い時、酔っぱらっている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。	
・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め点検、または修理を依頼してください。	
・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。	
・燃料は注入口の口元一杯まで入れず、8分目程度にしてください。運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。	
・燃料は必ず潤滑油混合ガソリン25：1(無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル)を補給してください。軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料・粗悪ガソリン等を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しますと、エンジンを損傷する原因となります。	
・分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。	
・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。	

 警告

<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転中はもちろん、使用しないときでも本機の上に物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械の点検や修理を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転中、高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ エンジンは作業機に搭載した状態で使用するようにならされていますので、絶対にエンジン単体で始動させないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転操作のわからない人、指導を受けていない人、お子様には絶対操作させないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。また、改造は絶対にお止めください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料は非常に引火性が高く、気化した燃料は爆発事故を起こす恐れがあります。燃料補給の際は必ずエンジンを止め、エンジンが冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから補給してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備点検・燃料補給の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機の周りに、石油、シンナー、火薬等の燃えやすい物は近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 誤って本体を落としたり、ぶついたりした場合は異常の有無を確認してください。破損や亀裂、変形が無いことをよく確認してください。ケガや火災の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 点検作業等を行う際は、通行の妨害にならないような場所及び平坦で安全な場所で行ってください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送途中の衝撃等により、製品が破損したり、取付部品が曲がったり外れたりする場合がありますので、ご使用前には必ず確認して、正規の状態でご使用ください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 可燃性・揮発性の液体やガス等の燃えやすいものの近くでは運転しないでください。爆発や火災の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体を車で運搬する場合は、燃料タンクに燃料が入っていない(空の状態)事を確認してください。また、本体が動かないようにしっかり固定してください。火災や事故の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機を始動させる前に、必ず全てのボルト・ナット等が適切に締め付けられているか確認してください。調整用の工具類は使用後すぐに外すようにし、エンジンを始動する前には必ずそれらが外してあることを確認してください。 	

 警告

・作業以外で本機を移動する際は必ずエンジンを停止させてから移動させてください。	
・本機をお子様に操作させたり、近寄らせないでください。ケガの原因となります。	
・使用方法・作業方法・周囲状況等に十分に注意をして使用してください。軽率な行動は事故やケガの原因となります。	
・吸入口や送風口には手をいれたりしないでください。けがの原因になります。	
・吸入口や送風口を塞いで運転させないでください。故障の原因になります。	
・はしごや木に登っての作業等、不安定な姿勢での使用は危険ですのでおやめください。常に足元をしっかり保持して作業をしてください。	
・使用中、機械の調子が悪かったり、異常音や異常振動等がしたときには直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。	
・リコイルスターターを引いてエンジンをかける時、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。	
・作業時にはノズルの先端を人や動物・自動車・窓ガラスなどに向けないでください。事故の原因となります。	
・水分を含んだゴミや鋭利なもの（ガラス・刃物・ネジ・釘・針金など）、火がついたタバコの吸い殻などを吸い込まないでください。故障や火災の原因になります。	
・雨中、雨上がり後や散水後および湿気のある場所で使用しないでください。また放置しないでください。足元が不安定でバランスを失い事故の原因になります。	
・作業場所には、作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。	
・吸入作業を行う際は、ダストバッグは確実に取付けてください。外れたりするとケガの原因になります。	
・使用中は足元を安定させ、確実に機体を保持させてください。保持しないとケガの原因になります。	
・作業する場所は昼光および、十分明るさのあるところで作業してください。事故の原因になります。	
・髪の毛等ファンに巻き込まれないように注意してください。重傷を負う原因となります。	

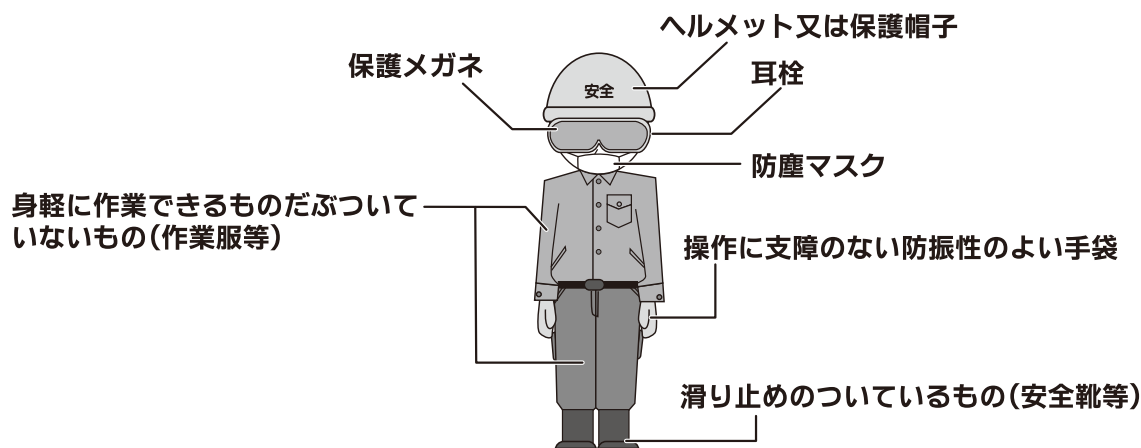
⚠ 注意

<ul style="list-style-type: none"> 本機は空冷2サイクルガソリンエンジンですので、使用燃料は25：1（無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル）を使用してください。ガソリンのみでエンジンをかけたり、混合比を誤りますとエンジンが故障する原因となります。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> 燃料系統の部品に異常が無いかを定期的に点検してください。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> 使用時、燃料は常に新しい物を使用してください。古い燃料を使用していると、運転が不調になる原因となりますので絶対に使用しないでください。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> リコイルスターターや冷却フィンの周りについてゴミは取り除くようにしてください。また、定期的にエアフィルターを清掃を行ってください。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> 修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社のお客様相談窓口までご依頼ください。ご自身で修理をすると、事故やケガの原因となります。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> 本機を使用しない場合は、燃料を抜き、お子様の手の届かない乾燥した場所または鍵のかかるところに保管してください。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> 吸入作業を行う際は、必ずダストバッグが取り付けられていることを確認してください。事故やケガの原因になります。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> 本機はお子様の手が届かない所に保管してください。温度が40℃以上に上がる可能性がある場所（車内等）、湿度が高い所、雨のかかる所には保管しないでください。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> 作業中は、保護メガネ・防塵マスク・イヤーマフ（耳栓）等で身体を防護してください。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> 作業前に大きな木片・金属・ガラス・石などは取り除いてください。ファン破損の原因となることがあります。 	⚠
<ul style="list-style-type: none"> 1日の作業時間は2時間以内にしてください。疲労は事故の最大の原因です。長時間の連続使用を避け、30分作業したら5分以上休憩してください。 	⚠

○騒音防止規制

- 騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。

※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。



上図のような動きやすい服装で作業を行ってください。

【仕様】

エンジン形式	空冷2サイクルガソリンエンジン
使用燃料	潤滑油混合ガソリン 無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル 25：1
排気量	25.4mL
出力	0.75kW (1PS)
燃料タンク容量	380mL
始動方式	リコイルスターター
点火プラグ	NGK BPMR7A
使用回転数	7500min ⁻¹
最大風量	10m ³ /min
最大風速	68m/s
騒音値	約90dB
本体寸法	W340mm×D255mm×H355mm
質量	約4.0kg

※本体寸法と質量はノズル類・燃料は含まれておりません。

※仕様・外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

【付属品】 ※大きさは実寸比と異なります。



本体×1



ブロウノズルA×1



ブロウノズルB×1



バキュームノズルA×1



バキュームノズルB×1



エルボ×1



ダストバッグ×1



ボックスレンチ×1



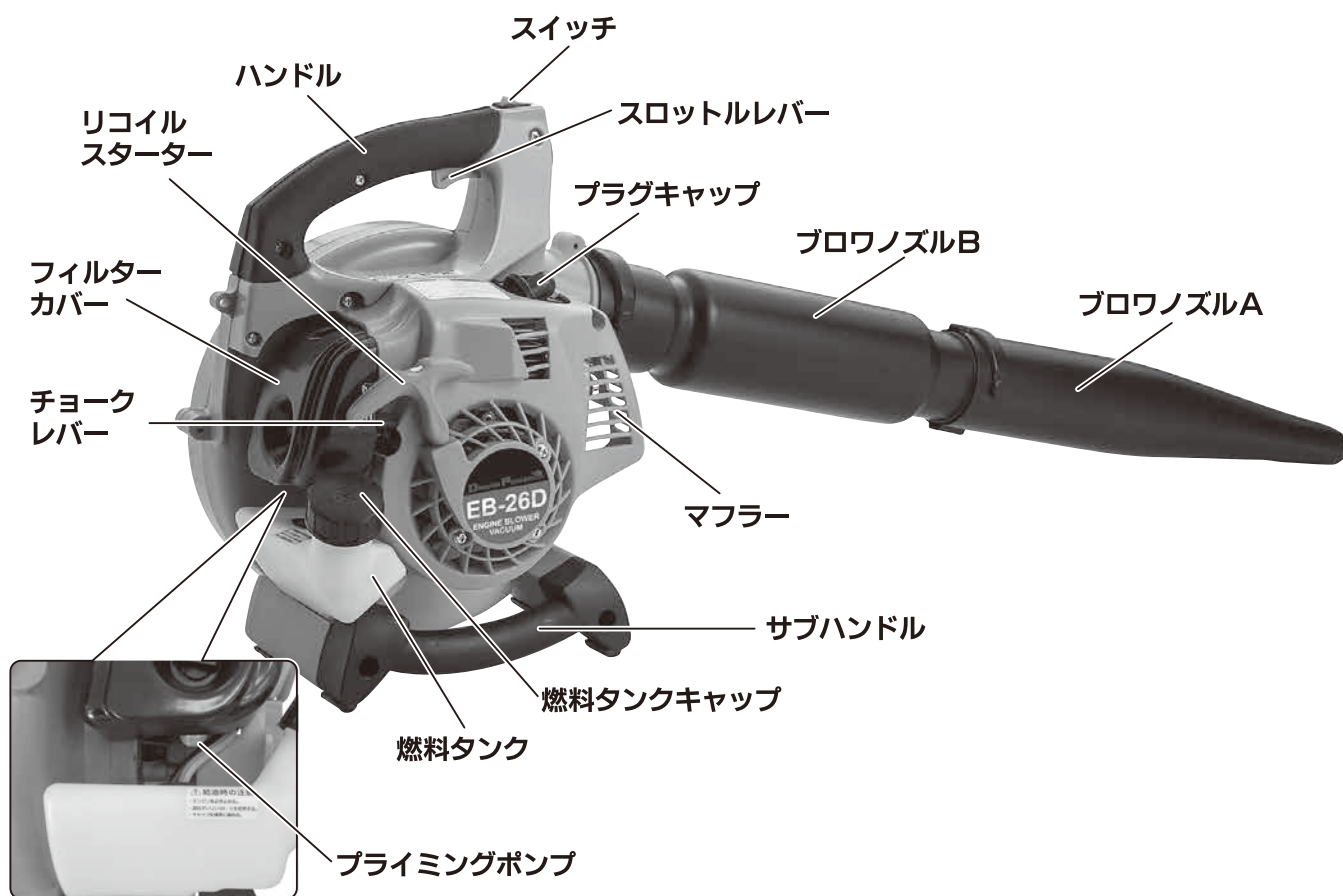
混合ガソリン容器×1



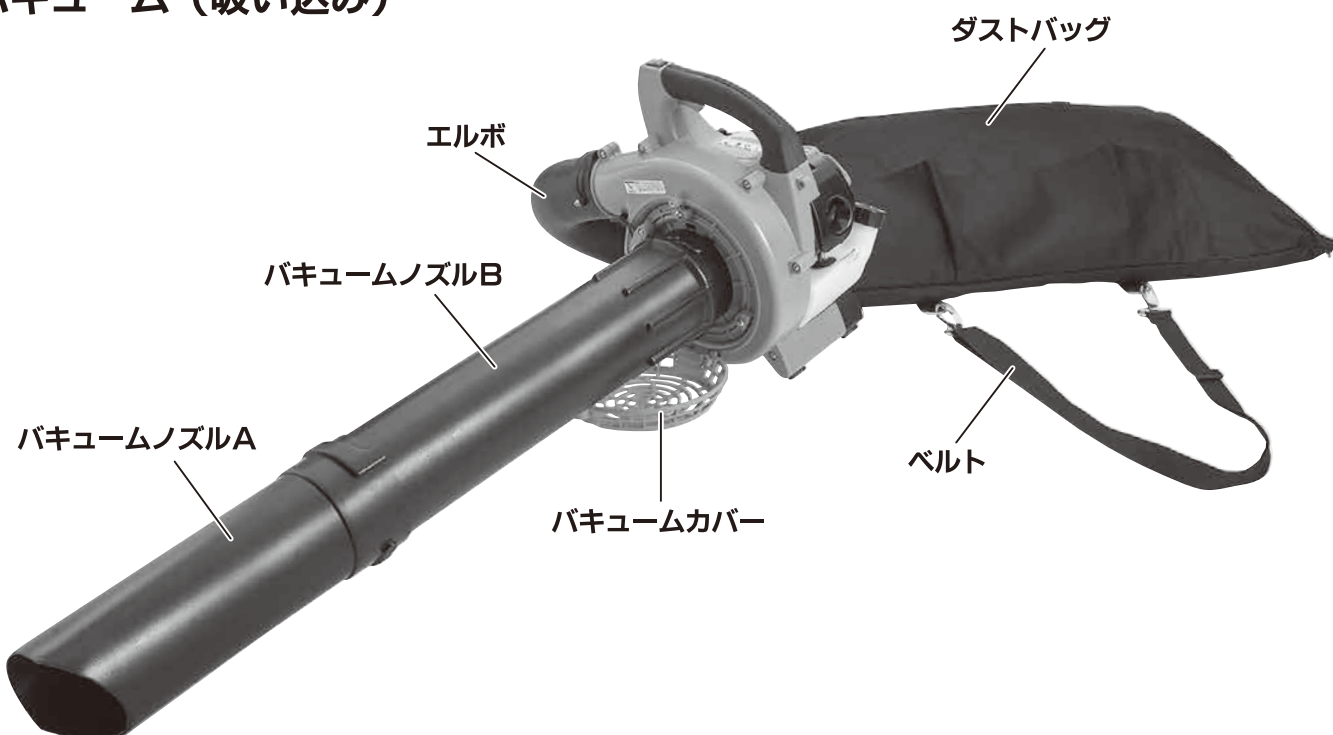
固定ネジ×1

【各部名称】

●ブロウ（吹き飛ばし）



●バキューム（吸い込み）



【組立方法】



・各ノズルの取付け、取外しの際は、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

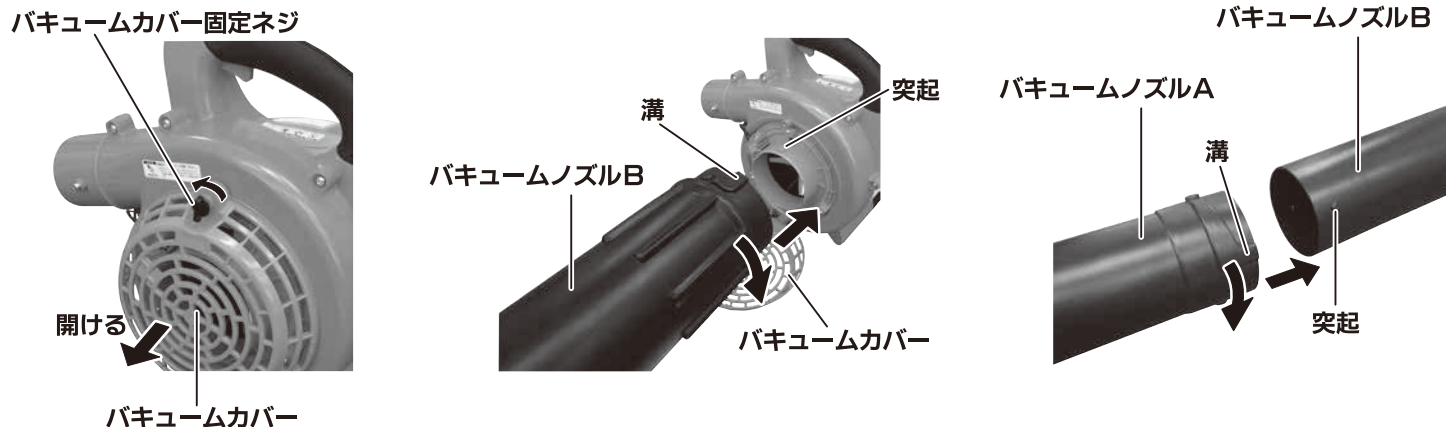
●ブロウノズルの取付方法



- ①ブロウノズルBの溝と本体のネジ穴を合わせて真っ直ぐ押し込み、ブロウノズルBを回します。
- ②付属の固定ネジで固定します。
- ③ブロウノズルBの突起とブロウノズルAの溝を合わせて真っ直ぐ押し込み、ブロウノズルAを回して固定します。

●バキュームノズルの取付方法

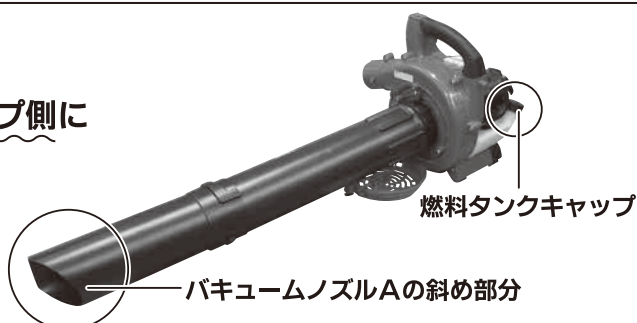
・本機には、バキュームカバーが正規の位置に組み込まれるか、バキュームノズルが組み付けられた時だけ、エンジンが始動、運転ができるようスイッチが組み込まれています。

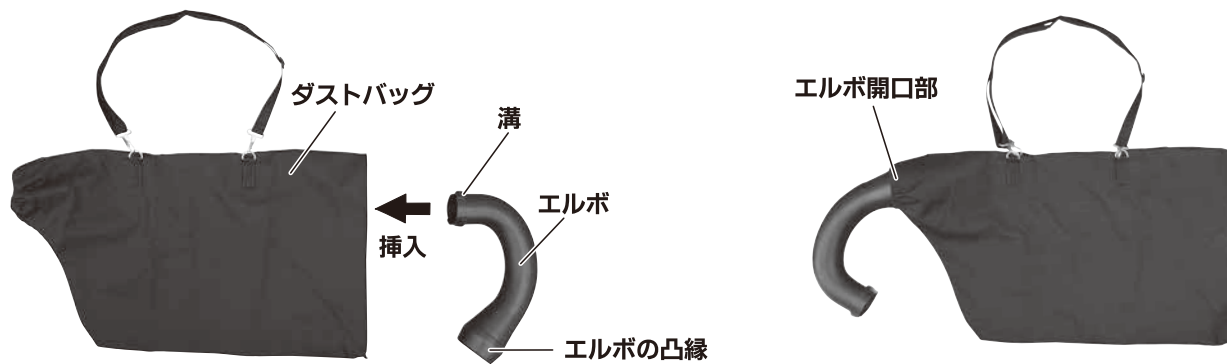


- ①バキュームカバーが外れるまで、バキュームカバー固定ネジを反時計方向に回して、バキュームカバーを開けてください。
- ②バキュームノズルBの溝と本体の突起を合わせて真っ直ぐ押し込み、バキュームノズルBを回して固定します。
- ③バキュームノズルBの突起とバキュームノズルAの溝を合わせて真っ直ぐ押し込み、バキュームノズルAを回して固定します。

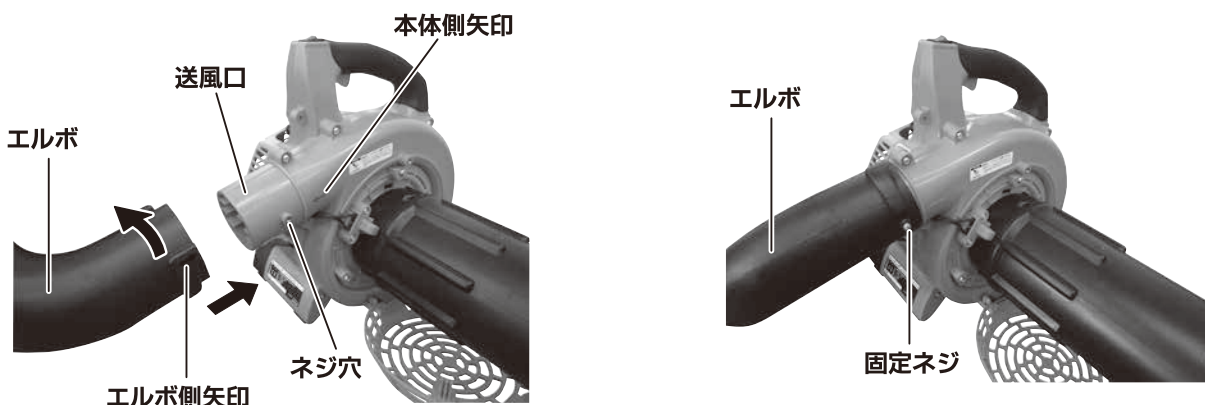
バキュームノズルを取り付ける際、ご注意ください

※バキュームノズルAの斜めの部分が燃料タンクキャップ側にくるように取り付けてください。





④ダストバッグのファスナーを開け、エルボの溝がある方から挿入し、ダストバッグのエルボ開口部に押し込みます。エルボの凸縁がエルボ開口部にあたるまで、エルボを押し出してください。



⑤エルボ側矢印と本体側矢印の位置を合わせて真っ直ぐ押し込み、エルボを回します。

⑥付属の固定ネジで固定します。

【使用方法】

●燃料の準備・給油

⚠ 警告

- ・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ・燃料の混合・給油を行うときは、火気の無い場所で行ってください。タバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。火災・爆発・ヤケドの原因となります。
- ・本機は空冷2サイクルガソリンエンジンですので、使用燃料は25：1(無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル)を使用してください。ガソリンのみで使用したり、混合比を誤りますとエンジンが故障する原因となります。
- ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
- ・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

⚠ 注意

- ・燃料は、作業に必要な量をその都度準備してください。古い燃料を使用すると、運転が不調になる原因となります。
- ・作業終了後、使用しないときは燃料をタンクから抜いてください。故障の原因となります。
- ・燃料は、燃料タンクの口元いっぱいまで入れないで、八分目位までとしてください。

①燃料タンクキャップを回して外し、混合ガソリンを給油します。

②給油後は、燃料タンクキャップをしっかりと締めてください。

※口元一杯まで入れないで、八分目程度にしてください。

◇無鉛ガソリンと2サイクルエンジン専用オイルとの混合比

無鉛ガソリン(L)	2サイクルエンジン専用オイル(ml)
0.5	20
1	40
2	80

●エンジンの始動

エンジンが冷えている場合

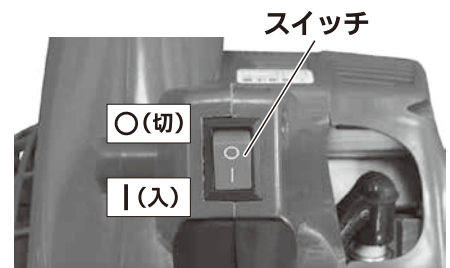
⚠ 警告

- ・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。
- ・疲れている時や体調の悪い時、酔っ払っている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。
- ・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検又は修理を依頼してください。
- ・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。
- ・燃料の混合、および給油した場所でエンジンを始動させない、少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。

⚠ 注意

- ・始動と同時に強い風が吹き出しますので、エンジンを始動させる時はノズルの前方に人や動物がいないことを確認してください。

①スイッチを「| (入)」の位置にしてください。



②燃料が入ってくるまでプライミングポンプを押します。
※約10回程度押せば燃料が上がってきます。



③チョークレバーを|◀|閉(始動)の位置にしてください。

④本体を安定した場所に置き、周囲に障害物がないことを確認してから、本体が動かないようにしっかりと押えリコイルスターターをゆっくりと引きます。

⑤リコイルスターターに抵抗を感じたら、勢いよく引き、それを最初の初爆音がするまで繰り返し行います。

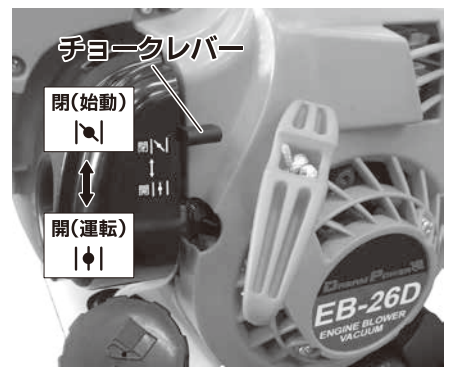
初爆してすぐに止まってしまった場合、⑥→⑧の手順へ

エンジンが始動した場合、⑦→⑧の手順へ

※リコイルスターターはロープ引き出し口の方に向かって真っ直ぐ引いてください。

※ロープはいっぱいに引ききらないでください。

※リコイルスターターを引いた後は、手を離さずに静かに戻してください。



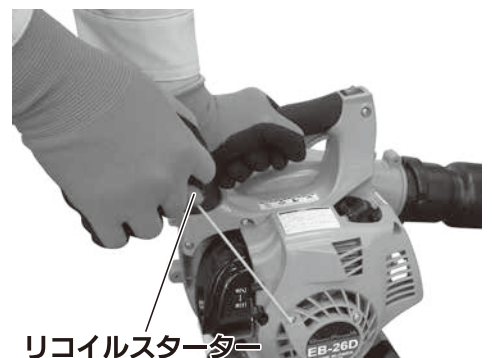
⚠ 注意

- ・チョークレバーを|◀|閉(始動)の位置にしたまま、何十回も繰り返しリコイルスターターを引き続けると燃料を吸い込みすぎてエンジンがかかりにくくなります。燃料を吸い込みすぎた時は、点火プラグを外し、電極を完全に乾かしてから元通り取り付けて始動操作をやり直してください。

⑥チョークレバーを|▶|開(運転)の位置に戻して、再度リコイルスターターを引いて、エンジンを始動させてください。

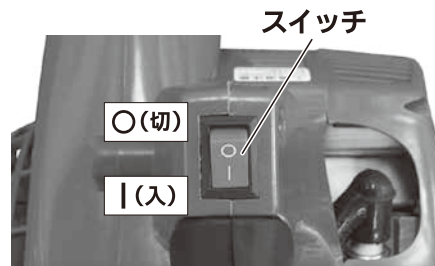
⑦エンジンが始動したらチョークレバーを|▶|開(運転)の位置に戻してください。

⑧2~3分低速で暖機運転してから作業を始めてください。

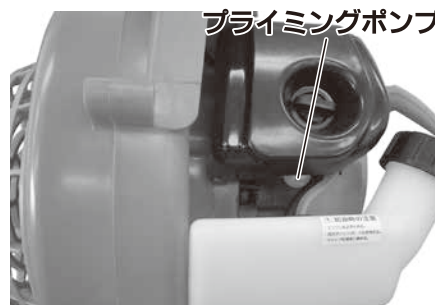


エンジンが暖まっている場合 ※エンジンが暖まっている場合は、チョークレバーを操作する必要はありません。

①スイッチを「| (入)」の位置にしてください。



②燃料が入ってくるまでプライミングポンプを押します。
※約10回程度押せば燃料が上がってきます。



③本体を安定した場所に置き、周囲に障害物がないことを確認してから、本体が動かないようにしっかりと押えリコイルスターターをゆっくりと引きます。

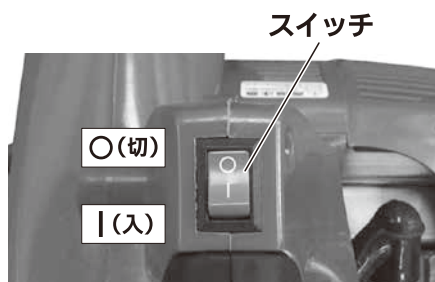
④リコイルスターターに抵抗を感じたら勢いよく引き、エンジンを始動させます。
※リコイルスターターはロープ引き出し口の方に向かって真っ直ぐ引いてください。
※ロープはいっぱい引ききらないでください。
※リコイルスターターを引いた後は、手を離さずに静かに戻してください。



●エンジンの停止

①エンジンを停止する際は、回転数を低速にして1～2分位運転した後、スイッチを「O (切)」の位置にします。

②エンジンが停止します。



【作業方法】

⚠ 警告

- ・使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。
- ・吸入口や送風口には手をいれたりしないでください。けがの原因になります。
- ・吸入口や送風口を塞いで運転させないでください。故障の原因になります。
- ・作業時にはノズルの先端を人や動物・自動車・窓ガラスなどに向けないでください。事故の原因となります。
- ・水分を含んだゴミや鋭利なもの（ガラス・刃物・ネジ・釘・針金など）、火がついたタバコの吸い殻などを吸い込まないでください。故障や火災の原因になります。
- ・髪の毛等ファンに巻き込まれないように注意してください。重傷を負う原因となります。

⚠ 注意

- ・吸入作業を行う際は、必ずダストバッグが取り付けられていることを確認してください。事故やケガの原因になります。
- ・作業中は、保護メガネ・防塵マスク・イヤーマフ（耳栓）等で身体を防護してください。
- ・作業前に大きな木片・金属・ガラス・石などは取り除いてください。ファン破損の原因となることがあります。
- ・道路や広場、駐車場など人や車の往来がある場所で作業する時は、作業区域の周囲を保安バリケードで囲むなどの事故防止措置を講じてください。
- ・はしごや木に登っての作業等、不安定な姿勢での使用は危険ですでおやめください。常に足元をしっかりと保持して作業をしてください。

●ブロウ(吹き飛ばし)作業

- ・本機をしっかりと保持してゆっくりと動かしながら作業を行ってください。
- ・吹き飛ばすものにノズルの先端を向けて、スロットルレバーを握り、作業に適したエンジン回転数で作業をしてください。
- ※ノズルの先端を上に向けすぎるとエアが吹き上げるのでご注意ください。
- ※左手でハンドルを握って作業をする場合は、エンジンからの熱風にご注意してください。ヤケドの原因となります。
- ※手ぬぐいを腰にかけたり、エプロンを着けたり、紐状のものを腰にかけて作業をしないでください。バキュームカバーに吸いついたり、内部のファンに巻き込むなど、故障やけがの原因になります。



●バキューム(吸い込み)作業

- ・ダストバッグを取り付け、ファスナーが閉まっていることを確認してください。
- ・ダストバッグのベルトを肩に掛け、作業がしやすい位置にベルトの長さを調整してください。
- ・吸い込むものにノズルの先端を向けて、スロットルレバーを握り、作業に適したエンジン回転数で作業をしてください。
- ・ダストバッグにたまったゴミはこまめに捨ててください。
- ※ダストバッグにゴミがたまりすぎると、吸い込む力が弱くなりますのでご注意ください。



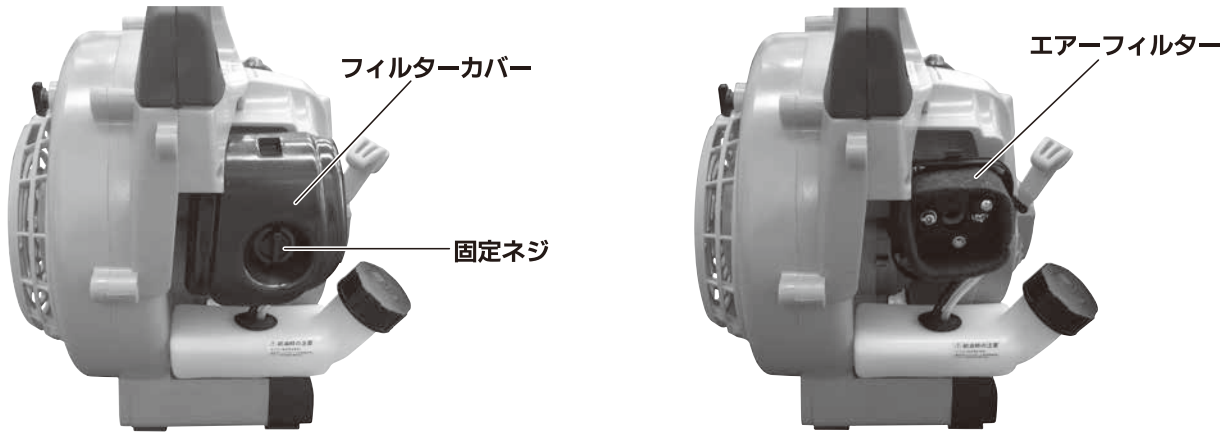
【保守と点検】



警告

・整備・点検・修理・燃料補給を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
また、点火プラグからプラグキャップを外してください。

●エアフィルターの清掃



・チョークレバーを閉(始動)側に倒し、キャブレターに塵埃などが入るのを防ぎます。
・エアフィルターの汚れは定期的に確認してください。汚れている場合には、下記の手順で清掃を行ってください。

①フィルターカバーを固定している固定ネジを外します。

②フィルターカバーを外し、エアフィルターを外します。

③エアフィルターに付着しているゴミやホコリを払ってください。

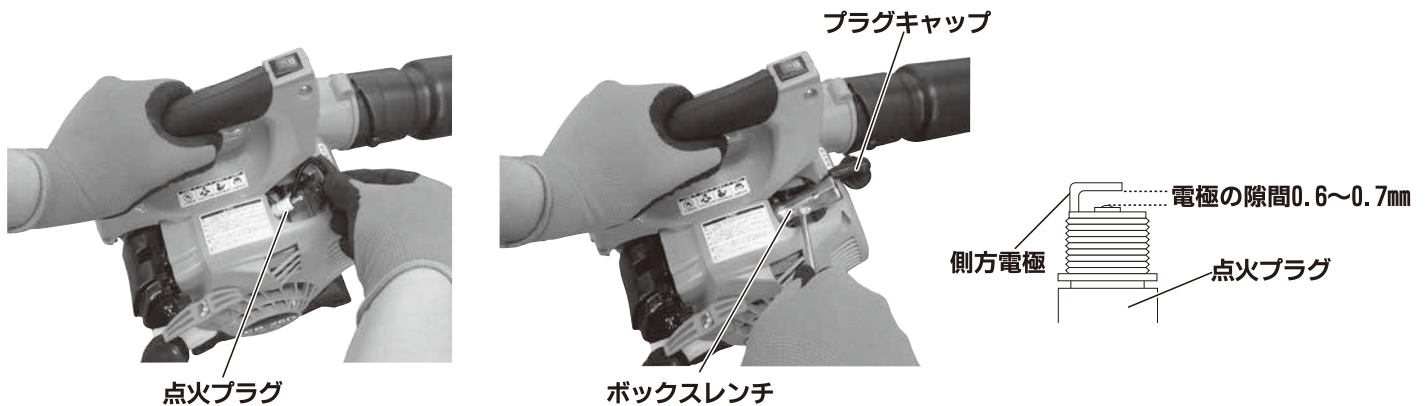
※汚れのひどい場合には灯油等でエアフィルターを洗浄してください。洗浄後、エアフィルターをエンジンオイルにひたし、エンジンオイルを良くしぼってから取り付けてください。エアフィルター内にエンジンオイルの残量が多いと、エンジン不調の原因となります。

※洗浄してもエアフィルターの汚れがひどい場合、またはエアフィルターの弾力が無くなったり傷みがある場合には、新しい物と交換してください。

※エアフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアフィルターはきれいにしておいてください。

④清掃が終わったら取り外したときと逆の手順で取り付けます。

●点火プラグの清掃



①プラグキャップを外し、付属のボックスレンチで点火プラグを外します。

②電極が汚れている場合には、プラグ用クリーナー・ワイヤーブラシ等でカーボンを落とすか点火プラグを交換してください。

※電極の隙間が大きい場合には、側方電極を曲げて、隙間の調整を行ってください。

標準プラグ	NGK BPMR7A
-------	------------

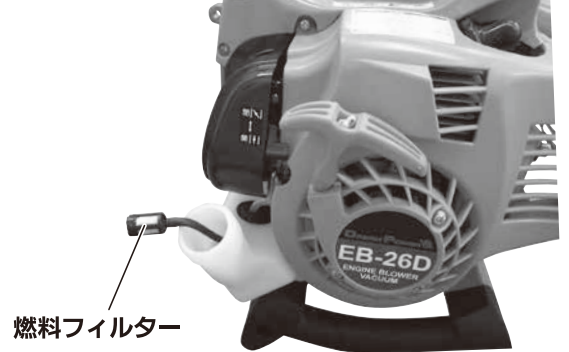
●燃料フィルターの清掃

⚠ 警告

- ・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。また、燃料フィルターを取り出す際もご注意ください。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。
- ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

- ・燃料フィルターが詰まると、燃料が上がらず、エンジンの回転不調の原因となります。定期的に確認してください。

- ①燃料タンクキャップを外し、燃料を抜きます。燃料タンクを空にします。燃料タンク内に異物が残っていないかを確認し、残っている場合はきれいに抜き取ります。
- ②針金等を使って燃料フィルターを取り出します。
- ③燃料フィルターをガソリンでよく洗います。汚れたガソリンは各自治体指定の方法で処理してください。
(汚れのひどいときは交換してください。)
- ④燃料タンク内に燃料フィルターを入れ、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。



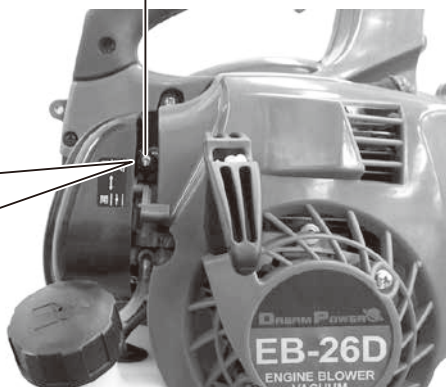
●その他

- ・定期的にマフラーの点検、各部ナット・ネジのゆるみがないかの確認、燃料漏れ・オイル漏れの確認をしてください。
- ・各部に付いたゴミやホコリはしっかりと拭き取ってください。また、水洗いはしないでください。
- ・ダストバッグの裂けや破れがないか確認し、ファスナーも同時に破損していないか確認してください。

●キャブレターのアイドリング調整

- ・キャブレターの調整は専門的な知識が必要です。不必要にキャブレターを調整しないでください。
- ・キャブレターは、工場出荷時に燃料が最適に供給されるように調整されていますが、次のような場合にはキャブレターのアイドリング調整をしてください。

アイドリング調整ネジ



- ・アイドリング（低速運転）の回転数が高すぎるとき、又は低すぎるとき（エンジンが停止するとき）は、アイドリング調整ネジで調整してください。（右回しでアイドリングの回転が高くなり、左回しで低くなります。）
- ※調整してもエンジンの回転が不調の際は、お買い求めの販売店へご相談ください。

●保管方法

- ・長期間(30日以上)使用しない場合には、燃料タンク及びキャブレター内の燃料を抜いてください。
※キャブレター内に燃料を残したままにしておきますと、キャブレター内の詰まり、作動不良等の原因となります。
※燃料を抜く際は、容器（市販品）等を用意して、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。
 - ①燃料タンクキャップを外し、針金等を使って燃料フィルターを取り出します。
 - ②燃料が出なくなるまで、プライミングポンプを押します。
 - ③燃料タンクから燃料を抜き、燃料タンクを空にします。
 - ④燃料が抜き終わったら、燃料タンク内に燃料フィルターを戻し、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。
 - ⑤最後にエンジンが停止するまで運転させてください。
 - ⑥点火プラグを外し、プラグの穴から少量の2サイクルエンジンオイルを流し込み、リコイルスターターをゆっくり引き、エンジン内にオイルを行きわたらせ、点火プラグをもと通りに取り付けてください。
 - ⑦リコイルスターターをゆっくり引き、圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めてください。
 - ⑧各部についたゴミやホコリをしっかりと拭きとってください。水洗いはしないでください。
- ※保管の際はお子様が触れることのできない鍵のかかった場所等に保管し、湿気の高い場所・雨等の水がかかる場所・直射日光のあたる場所は避けてください。
- ※燃料は、屋内の火気の心配のない、冷たい乾燥した場所に安全な容器に入れて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。

●トラブルの原因と対策

⚠	注意
<ul style="list-style-type: none"> ・本機の修理は、必ずお買い求めの販売店へお申し付けください。 ・運転中、本機の調子が悪かったり本機に異常を感じたときは、ただちに使用を中止してください。 ・取扱説明書の説明以外の分解・修理および改造は絶対に行わないでください。 	

状 態	原 因	対 策
エンジンが始動しない	燃料が無い・古い	新しい燃料を補給する
	スイッチが「切」になっている	スイッチを「入」にする
	点火プラグから火花が出ない	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
	エアフィルターが詰まっている	フィルター類を清掃もしくは交換をする
	オーバーチョーク（燃料の吸い込み過ぎ）	点火プラグを外してリコイルスターターを5・6回引き、点火プラグの電極部を乾かしてから点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる
	燃料が回っていない	プライミングポンプを押す
	バキュームノズルが正しく取り付けられていない（バキューム作業時）	取り付けなおす
	バキュームカバーが正しく取り付けられていない（ブロウ作業時）	取り付けなおす
エンジンの出力不足 および回転が不安定	燃料フィルターの詰まり	清掃をする
	エアフィルターが詰まっている	フィルター類の清掃もしくは交換をする
	点火プラグの汚れ	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
エンジンが停止しない	スイッチ端子の不良・汚れもしくはスイッチリード線の不良	お買い求めの販売店に相談をする
吸い込みしない	ダストバッグにゴミが詰まっている	ダストバッグのゴミを捨てる
	吸い込み口が詰まっている	吸い込み口の清掃をする

※上記の表は簡単な異常に対しての対策のみを記載しておりますので、わからない点や複雑な異常については、お買い上げいただきました販売店へご相談ください。

株式会社 ナカトミ

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地の2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-7101

受付時間10:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。